

参考資料 1. 策定の経緯

策定にむけては、市民や来街者をはじめ、自治会や商店会、民間事業者や権利者、大学教授や学生、商工会議所や各種団体など多様な主体と意見交換をし、内容を深掘りしていきました。特に会議体などでの協議の記録を以下に示します。

	庁内の 検討	専門家との 検討	民間、関係団体との意見交換・情報発信						ワーク ショップ	アンケート	社会実験
	静岡都心地区 まちなか再生 検討委員会	静岡都心地区 都市デザイン アドバイザー 会議	呉服町・紺屋町 エリア、 七間町通り エリア	青葉通りエリア	JR静岡駅 エリア	御伝鷹地区 (御幸通りエリア、 静鉄新静岡駅エ リア)	北街道エリア	人宿町エリア	おまちライフ Lab.		
2020	9局14課 計 4回				1団体 計1回						
2021	9局14課 計 2回		4団体 計21回	1団体 計4回	1団体 計1回		※個別事業にて、 別途WS・意見交換を実施			来街者 アンケート 計1回 648名	
2022	9局14課 計 2回		7団体 計7回	1団体 計11回	1団体 計1回	周辺事業者等ヒ アリング	※個別事業にて、 別途WS・意見交換を実施				アオチャレ ・11/18～12/16 ・1/21～2/12
2023	9局14課 計 1回		3団体 計3回	1団体 計1回 周辺事業者等 ヒアリング		2団体 計6回	1団体 計4回	1団体 計2回		各地域 アンケート 御伝鷹 305名 静岡駅 117名	
2024	9局14課 計 3回	計4回	関係する市民や事業者などとの個別の協議・打合せ等 およそ80回						計4回実施 および オープンハウス 10/13,14	アオバリビング アンケート 利用者 258名 関係者 114名	アオバリビング 10/4～10/14
2025	9局14課 計 1回	計2回									



都市デザインアドバイザー会議



民間、関係団体との意見交換・情報発信



おまちライフLab.



アオバリビング

開催の趣旨

- まちなか再生指針の策定を、静岡都心に関わる皆さんと一緒に考え、進めていく一つのきっかけとなるよう、ワークショップなどを“おまちライフLab.”と題して開催しました。
- 静岡市の中心街を、静岡市民の皆さんは親しみを持って“おまち”と呼ぶことが多いです。そんな“おまち”での暮らし方や過ごし方、“おまちライフ”を市民の皆様や、まちを利用される皆様と一緒に考えました。



歩いて魅力や課題を確認する様子



おまちで過ごす方々との対話の様子
(青葉通りでのオープンハウス)

開催の概要

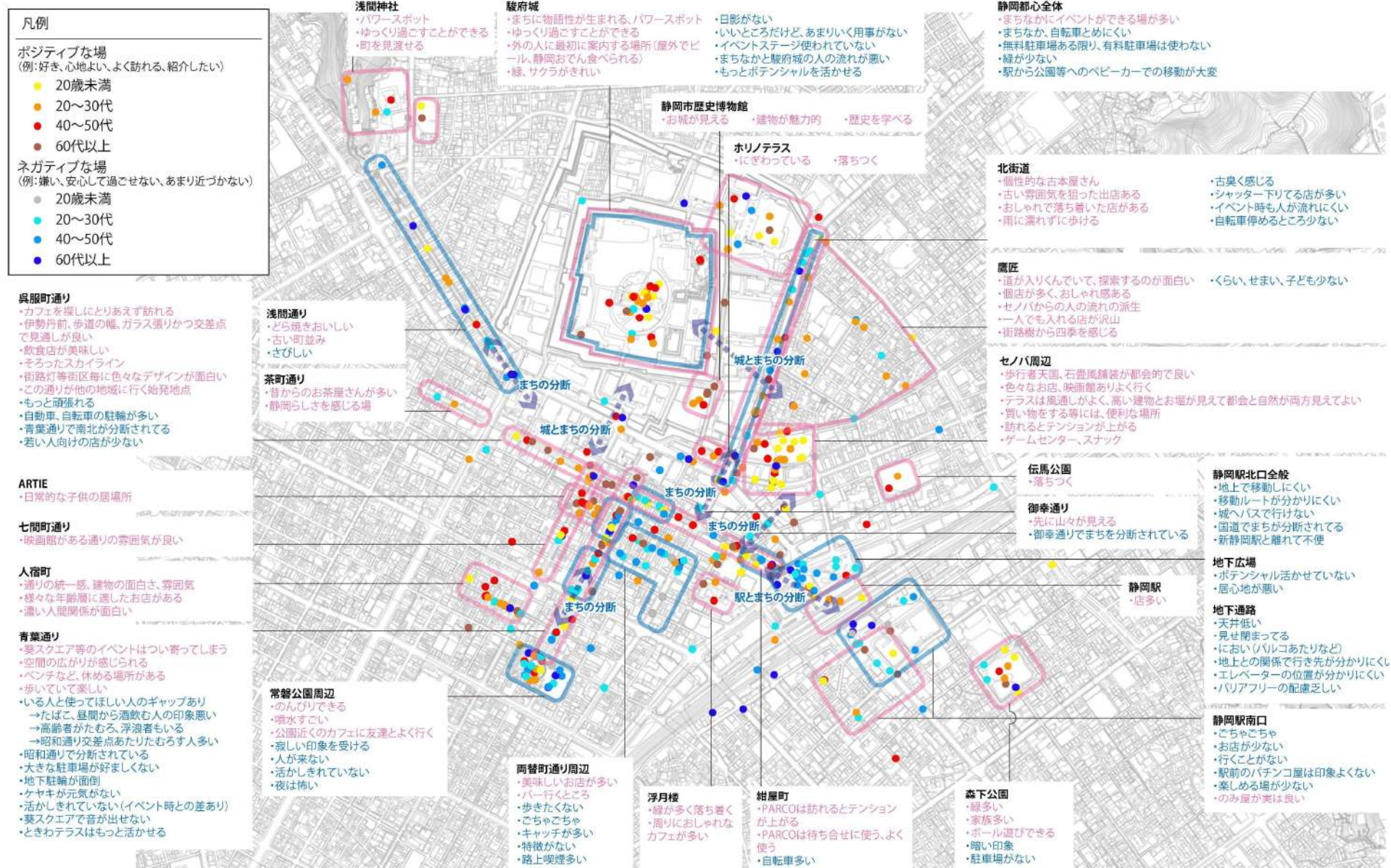
- おまちライフLabでは、公募でお申し込みのあった参加者の皆さんと日頃おまちに感じていることを共有しつつ、おまちを実際に歩いて魅力や課題を再確認し、今後のおまちの姿を考えました。
- ワークショップで検討した内容や指針の検討途中の成果を、日常的におまちで過ごす方々へ情報共有しながら、対話をする機会であるオープンハウスを通じて、様々なご意見をいただきました。

おまちライフLab.の開催概要

内容	日時	検討テーマ	参加者
第1回 ワークショップ	2024年5月18日	ポジティブ&ネガティブな印象の場を共有し、ポテンシャルマップをつくろう	72名
第2-1回 ワークショップ	2024年7月6日	おまちの魅力や課題を再発見し、具体的な改善のアイデアを研究しよう 「青葉通り周辺」編	35名
第2-2回 ワークショップ	2024年8月3日	おまちの魅力や課題を再発見し、具体的な改善のアイデアを研究しよう 「新静岡駅周辺」編	30名
オープンハウス	2024年10月13日、 2024年10月14日	検討中のまちづくりの指針、これまでの市民ワークショップで提案された意見について紹介し、意見を伺う	75名
第3回 ワークショップ	2024年11月23日	これまでの意見や専門家による調査などに耳を傾けつつ、これからのおまちの姿を具体的に研究しよう	42名

結果概要 -おまちのポジティブ&ネガティブな場

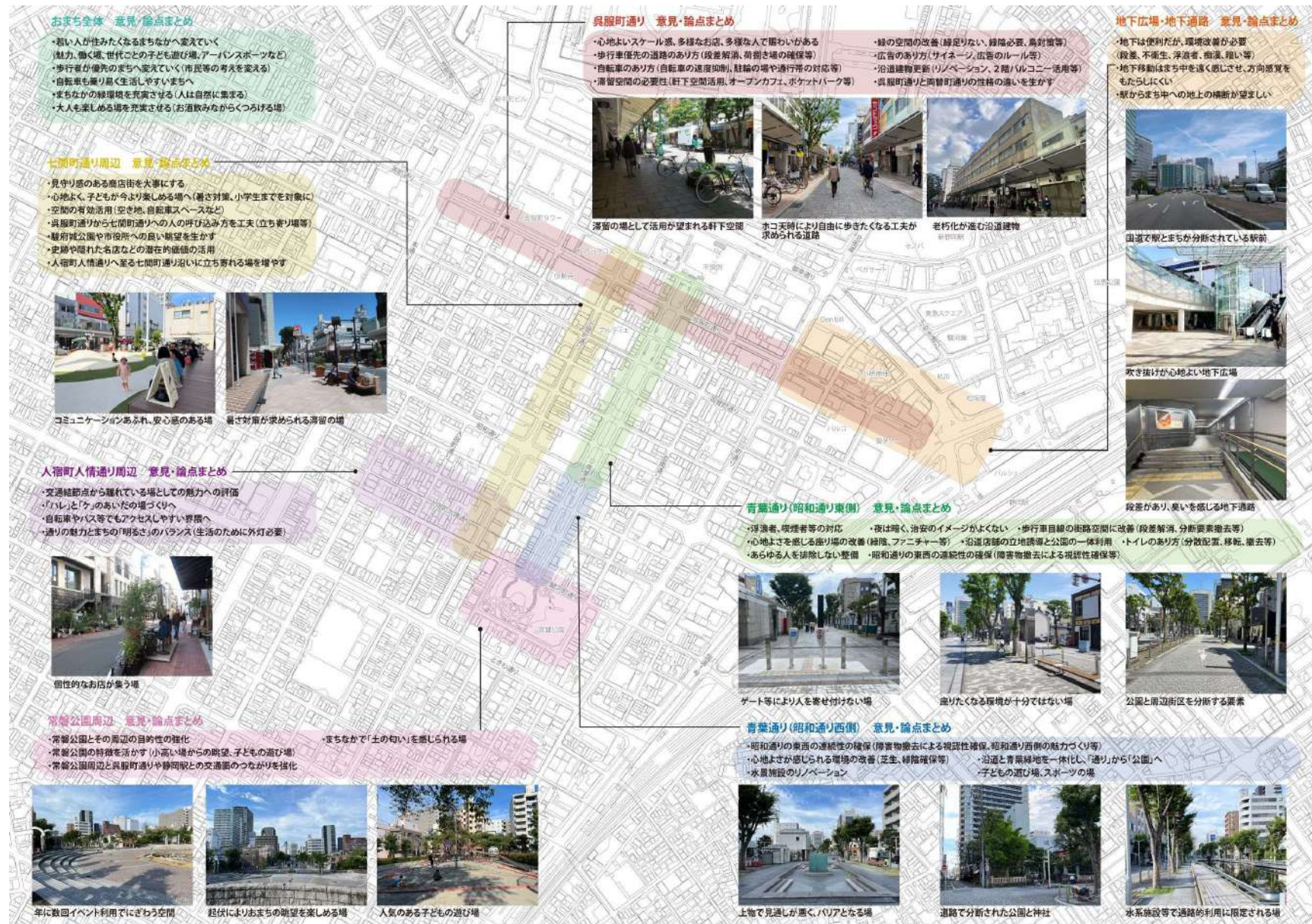
- 日頃おまちで過ごす中で、ポジティブな場、ネガティブな場を表明し、その理由を整理しました。



ワークショップの意見を取りまとめたポテンシャルマップ (ポジティブ&ネガティブな場)

結果概要 -おまちの魅力や課題、改善アイデア

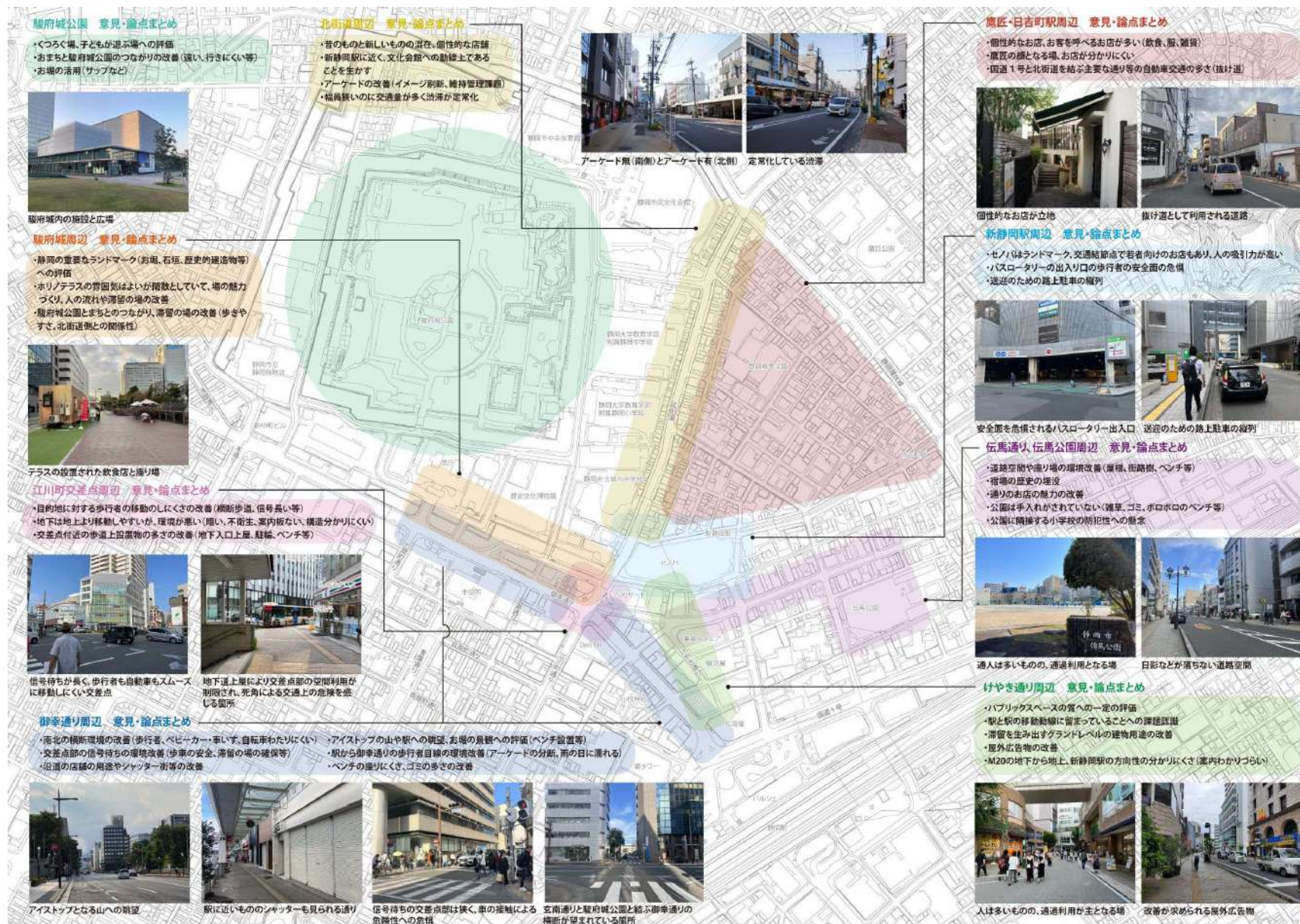
- まち歩きや意見交換などを通じて、青葉通り周辺の魅力や課題、改善アイデアを整理しました。



青葉通り周辺の魅力や課題、改善アイデア (第2-1回ワークショップ)

結果概要 -おまちの魅力や課題、改善アイデア

- まち歩きや意見交換などを通じて、新静岡駅周辺の魅力や課題、改善アイデアを整理しました。



新静岡駅周辺の魅力や課題、改善アイデア (第2-2回ワークショップ)

開催の趣旨

- ・ 静岡都心地区のまちなか再生指針の策定に向けて、学識経験者等の専門的な見地より意見を求めるため、静岡都心地区都市デザインアドバイザー会議を設置しました。
- ・ 同会議は、右表に示す5名の委員に参画いただきました。

委員一覧

氏名	所属	役職
岸井 隆幸	一般財団法人 計量計画研究所	顧問
遠藤 新	工学院大学	座長
黒瀬 武史	九州大学	
土屋 和男	常葉大学	
三浦 詩乃	中央大学	

開催の概要

- ・ アドバイザー会議は、6回にわたって開催し、多角的な視点から議論を深め、適宜、その後の検討へと反映しています。

会議の開催概要

回	日時	検討内容
第1回	2024年4月15日	都市デザイン指針検討の背景と検討の方向性、まちなか再生指針、市民等との意見交換
第2回	2024年6月24日	空間特性分析、おまちライフLab.、まちなか再生指針、都市デザイン指針、個別施設（北口地下広場、呉服町通り、青葉通り等）、青葉通りの社会実験
第3回	2024年9月10日	おまちライフLab.、まちなか再生指針、都市デザイン指針、個別施設（北口地下広場、呉服町通り、青葉通り等）、青葉通りの社会実験
第4回	2024年12月20日	おまちライフLab.、まちなか再生指針、都市デザイン指針、個別施設（北口地下広場、呉服町通り、青葉通り等）
第5回	2025年4月23日	都市デザイン指針、基本計画（呉服町通り、青葉通り）
第6回	2025年7月11日	都市デザイン指針、基本計画（呉服町通り、青葉通り）



アドバイザー会議の様子